



独自施策で訪問介護のさらなる充実を

前川原 正人 議員

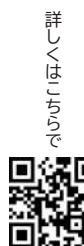
問 介護報酬等の削減などにより、訪問介護事業所の撤退が進み、「保険あつて介護なし」の状況である。令和7年5月31日現在の介護給付費準備基金残高は約15億7千万円だが、これを活用して事業者や介護報酬削減分の補てんなど、市独自の施策はできないか。

答 基金活用は考えていない。地域支援事業などの介護予防については、事業の公平性・公益性、他自治体の状況も注視し、高齢者施策委員会などで検討していきたい。

公営住宅の入居条件緩和で地域活性化を

問 中山間地域の公営住宅は、59才以下の単身世

その他の質問
・国民健康保険制度



住民が反対している産業廃棄物処分場の状況は

木野田 誠 議員

問 霧島永水地区の産業廃棄物処分計画については、永水地区住民が一丸となって反対している。その後の状況はどうか。

答 市は事業者に対し、「払い下げた市有地への産業廃棄物処分の建設は条件に反するため、引き続き計画を遂行する場合は、契約を解除し買い戻す」と通知した。その後、事業者から「事業実施区域の規模を縮小し、払い下げ地を除外し建設する」との回答があった。

今後、事業者は法律に基づき諸手続きを進めていくと考えられるため、市としては、住民の理解を得た上で手続きを行うよう要請していく。



住民が設置した横断幕

問 対象者の枠を広げることはいくつか。

答 これまでも対象者の拡大や、補助金交付上限額の一部引き上げを行ってきた。農業者にとつて効果的な支援となるよう随時見直しを行い、農業振興を推進していく。



公共施設管理計画の執行状況と今後の課題は

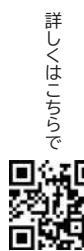
宮田 竜二 議員

問 合併した本市には、各地域に同じような施設、利用されていない施設が多く残っている。前回の実施計画で、施設の総量削減目標値の約15%しか達成できなかった原因は何か。

答 地域や施設利用者の方々との話し合い・合意形成不足が原因である。

問 市の負担割合が55%の有利な国の事業債を財源にして、福山地区に複数ある体育館を売却し、新福山体育館を新設・集約してはどうか。

答 これらの体育館は、老朽化して利用者が少ないことから、当面の間は使用を継続しながら、利用者の意見を把握し、最



安全安心な社会へ再犯防止推進計画策定を

野村 和人 議員

問 再犯防止推進計画は、犯罪や非行をした者の社会復帰支援を促進する。県内の策定状況はどうか。

答 令和7年4月時点において、県内19市のうち12市で策定されている。

投票所にコミュニケーションボードを

問 誰もが投票しやすい環境への取組として、点字投票は取り組んでいるが、コミュニケーションボードの導入はどうか。

答 投票に支援の必要な方に重要なツールと考えるため、参議院選挙から準備をする。



コミュニケーションボード例（総務省HP）



薩摩義士の顕彰に繋がる環境整備の推進を

松枝 正浩 議員

問 本市ゆかりの薩摩義士の墓がある住吉墓地西側の里道は、舗装修繕するののか。

答 住吉墓地のある自治会から要望があり、令和4年度に全体延長の一部の舗装修繕を実施した。現地の状況も悪いため、令和7年度中に残りの区間の舗装修繕を実施する。



舗装修繕が実施される里道

市民の声を反映した事業展開へ

問 4月上旬には、後期高齢者向けの人間ドック助成は予算額に達した。今後、どのように事業を進めていく予定か。

答 希望者は増加しており、キャンセル待ちも発生している。問い合わせに対しては、長寿健診の案内をするなど丁寧な対応を行う。他自治体の助成制度なども調査していく。

その他の質問
・地域の安全安心



国分下井地区の適切な用排水路管理を

徳田 修和 議員

問 下井排水機場の整備にあわせて、用排水路の整備・管理の徹底を図るべきではないか。

答 下井排水機場は令和5年度から令和7年度にかけて、ポンプ施設の更新や堆積した土砂の撤去など計画的な整備を行い、排水機能を強化している。今後も周辺排水路からの集水機能が維持されるよう適正な維持管理に努めたい。



鳴子前の用排水路

問 新しく策定した霧島市災害時栄養・食生活支援活動マニュアルは、食物アレルギーや疾患を持つ人や妊婦、乳幼児、高齢者だけでなく、宗教上の配慮も記載されている。今後、備蓄品目を増やすべきではないか。

答 ご飯類は9品目うちアレルギー対応が4品目で、栄養缶はすべてアレルギー対応である。パン、麺類のアレルギー対応や宗教などへの配慮は、今後の検討になる。

その他の質問
・市営プールの運営

